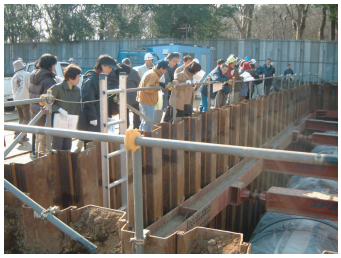
柏市中原ふれあい防災公園実施設計・設計監理

防災公園・地区公園・設計監理



工事見学会の様子

■主旨・内容

本公園は、千葉県柏市に計画された防災公園である。もともと牧場として使われており、牧場閉鎖後も、地元の自然保護団体等によって、お花畑等として利用されていた。

基本設計においては、「みんなでつくる・そだてる・ふれあう公園」をコンセプトに、緑豊かな市民の憩いの場、レクリエーションの場となると共に、災害時は、緊急避難場所としての機能をもった公園整備を目標としている。

実施設計にあたっては、本公園の名称にもなっているとおり、市民がふれあうことができる公園づくりをめざすとともに、地元住民の要望等もあり、出来るかぎり既存樹を残し、もともとの土地利用であった牧場の雰囲気を残すおおらかな起伏をもった芝生広場や、牧場の雰囲気にあった木造の公園施設（便所や倉庫等）の設計を行った。敷地の一部には、まきば広場と名づけられたゾーンを計画し、将来、地元の方々が自分達で計画し、管理が行える部分を残した。

設計監理については、周囲が住宅地であることから、敷地の境界付近については、隣地の住民の方と一軒一軒調整を図りながら工事を行うと共に、周辺より高台に位置する現地の状況を考慮し、防砂対策や防音対策等に十分注意を配慮を行った。工事期間中には、地元住民を対象とした公園及び耐震性貯水槽をはじめとする防災施設の見学会を行い、沢山の方々に現場を見てもらう機会を設けた。

芝生広場全景

防災倉庫周辺

■諸元

公園名称：	中原ふれあい防災公園
施主　：	千葉県柏市（都市基盤整備公団）
所在地　：	千葉県柏市中原
敷地面積：	4.8ha
業務内容：	実施設計、設計監理
設計期間：	2003.2～2004.3（基盤整備監理）